



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>
代表者 （役職名） 代表取締役 （氏名） 山田 翔
問合せ先責任者 （役職名） 上席執行役員 管理担当 （氏名） 田中 庸一 TEL 03-6771-8512
半期報告書提出予定日 2025年8月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期中間期	5,906	△7.6	△23	—	122	△52.3	△76	—
2024年12月期中間期	6,393	△6.6	53	△91.5	257	△67.9	178	△74.1

（注）包括利益 2025年12月期中間期 △133百万円（－％） 2024年12月期中間期 246百万円（△57.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△1.97	—
2024年12月期中間期	4.57	—

（注）1. 2025年12月期中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であり、また希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2024年12月期中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期中間期	21,328	13,649	62.0	338.32
2024年12月期	22,884	13,885	58.9	344.95

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 13,222百万円 2024年12月期 13,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	6.35	6.35

（注）1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年12月期は、2024年12月期末の発行済株式数から自己株式を除いた39,082,120株から1株当たり配当金を算出しております。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	11,700	△7.8	20	△88.0	170	△66.3	20	—	0.51

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 中間連結会計期間の業績予想につきましては、記載を省略しております。

3. 1株当たり当期純利益は、当中間連結会計期間の期中平均株式数39,082,120株から算出しております。

4. 詳細は、添付資料「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更: 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年12月期中間期	42,006,000株	2024年12月期	42,006,000株
2025年12月期中間期	2,923,880株	2024年12月期	2,923,880株
2025年12月期中間期	39,082,120株	2024年12月期中間期	39,082,120株

※第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

本資料の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。

また、2025年8月6日(水)に機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け決算説明会を開催する予定であります。

本説明会の動画(2025年12月期第2四半期(中間期)の業績・事業概況の説明)へのアクセスURLは、開催日同日に当社ウェブサイト(<https://ir.adways.net/>)にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年1月1日から2025年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、売上高5,906,738千円、営業損失23,073千円、経常利益122,945千円、親会社株主に帰属する中間純損失は76,994千円となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前中間連結会計期間 (2024年12月期)	当中間連結会計期間 (2025年12月期)	増減額 (増減率)
売 上 高	6,393,588	5,906,738	△486,850 (△7.6%)
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	53,673	△23,073	△76,746 (—)
経 常 利 益	257,772	122,945	△134,826 (△52.3%)
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	178,449	△76,994	△255,444 (—)

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、アドプラットフォーム事業における全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」でのブランド広告の需要が増加いたしました。エージェンシー事業における、大手の広告主(クライアント)3社からの広告需要が減少した結果、売上高は5,906,738千円(前年同期比7.6%減)となりました。

販売費及び一般管理費における採用教育費及び減価償却費の減少に伴い販売費及び一般管理費が減少したものの、売上高の減少に伴い、売上総利益が減少したことにより、営業損失は23,073千円(前年同期は53,673千円の利益)となりました。

経常利益は、営業利益及び持分法による投資利益が減少したこと、為替差損が増加したこと等により122,945千円(前年同期比52.3%減)となりました。

税金等調整前中間純利益は、投資有価証券売却益及び経常利益が減少したこと等により120,649千円(前年同期比77.5%減)となりました。

上記の結果、法人税等を計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純損失は76,994千円(前年同期は178,449千円の利益)となりました。

[セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

			前中間連結会計期間 (2024年12月期)	当中間連結会計期間 (2025年12月期)	増減額 (増減率)
外部 売上高	①アドプラットフォーム事業		1,961,234	2,339,085	377,851 (19.3%)
	②エージェンシー事業	国内	2,757,139	1,977,137	△780,001 (△28.3%)
		海外	977,193	951,298	△25,895 (△2.7%)
		合計	3,734,332	2,928,435	△805,896 (△21.6%)
	③その他		698,021	639,216	△58,804 (△8.4%)
セグメント利益	①アドプラットフォーム事業		236,336	587,617	351,281 (148.6%)
	②エージェンシー事業		773,720	247,176	△526,544 (△68.1%)
	③その他		159,039	96,325	△62,713 (△39.4%)

①アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業は、スマートフォン向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」等、当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告の販売、及び運用を行っております。

当中間連結会計期間においては、「AppDriver」「Smart-C」などの自社プロダクトを用いた広告需要は減少したものの、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」におけるブランド広告の需要、及びアフィリエイト広告サービス「JANet」におけるクレジットカード等の金融関連企業からの広告需要が増加いたしました。

これらの結果、アドプラットフォーム事業の売上高は、2,339,085千円(前年同期比19.3%増)、セグメント利益は587,617千円(前年同期比148.6%増)となりました。

②エージェンシー事業

エージェンシー事業は、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援のため、アドプラットフォーム事業で提供している当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告に限らず、広告商品及び付随するサービスの代理販売を行っております。

当中間連結会計期間においては、国内のエージェンシー事業では大手の広告主(クライアント)3社の広告に対する方針の変更等により広告需要が減少いたしました。海外のエージェンシー事業においては、中国で新規のゲームアプリのリリースの増加に伴い広告需要は増加したものの、ブランド広告の需要が減少いたしました。

これらの結果、エージェンシー事業の売上高は2,928,435千円(前年同期比21.6%減)、セグメント利益は247,176千円(前年同期比68.1%減)となりました。

③その他

その他は、土業向けのポータルサイトの運営や、インフルエンサーマーケティングの企画運営、サウナの運営事業等の新規事業等により構成されています。

当中間連結会計期間においては、インフルエンサーマーケティングの企画運営、サウナの運営事業では売上高が増加したものの、2024年12月期以降、コンサルティング業務を行う連結子会社、生活雑貨の販売事業を行う連結子会社の株式を譲渡し、当社グループから除外されたことで売上高が減少した結果、売上高は639,216千円(前年同期比8.4%減)、セグメント利益は96,325千円(前年同期比39.4%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債、純資産の状況

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2024年12月期)	当中間 連結会計期間 (2025年12月期)	増減額 (増減率)
資 産 合 計	22,884,884	21,328,597	△1,556,286 (△6.8%)
負 債 合 計	8,999,448	7,679,416	△1,320,032 (△14.7%)
純 資 産 合 計	13,885,435	13,649,181	△236,254 (△1.7%)

[資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より1,291,301千円減少し17,088,179千円となりました。主な要因は、現金及び預金が279,728千円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が1,585,095千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より264,985千円減少し4,240,417千円となりました。主な要因は、投資有価証券が266,536千円減少したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より1,271,014千円減少し7,362,035千円となりました。主な要因は、買掛金が917,575千円、その他に含まれる未払消費税等が151,233千円及び未払金が109,856千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より49,017千円減少し317,380千円となりました。主な要因は、繰延税金負債が50,028千円減少したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より236,254千円減少し13,649,181千円となりました。主な要因は、利益剰余金が179,766千円、その他有価証券評価差額金が72,566千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、10,314,899千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、158,622千円の収入(前年同期は109,197千円の収入)となりました。主な要因は、仕入債務の減少962,973千円、法人税等の支払額221,011千円、未払金及び未払費用の減少200,334千円による支出があったものの、売上債権の減少1,527,459千円による収入があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、186,058千円の収入(前年同期は256,612千円の収入)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出254,144千円があったものの、投資事業組合からの分配による収入213,164千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入192,744千円があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、134,234千円の支出(前年同期は234,783千円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額による支出117,622千円があったことによるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが主に手掛けているインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携を行うことで、取引の拡大と売上の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。

このような状況のもと、当中間連結会計期間の当社グループにおきましては、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」を利用したブランド広告をはじめとする広告配信において更なる成長を見込んでおりますが、国内のエージェンシー事業では、大手の広告主(クライアント)からの広告予算縮小等の影響、海外のエージェンシー事業では中国でのブランド広告の需要の減少等の影響が発生すると予測されます。

これらの状況を踏まえ、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2025年12月期(2025年1月1日～2025年12月31日)の売上高は、11,700百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加により20百万円を見込んでおり、経常利益170百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は20百万円を見込んでおります。

(剰余金の配当予想)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の最重要課題の一つと認識しております。2025年12月期以降は、事業の成長、並びに資本効率の改善等による、中長期的な企業価値の向上に努めると共に、継続的かつ安定的な配当を実施していくことを目標とし、2025年12月期から2027年12月期までの3ヶ年の配当につきましては、原則としてDOE(株主資本配当率)2%以上を目安として実施する方針といたします。

<2025年12月期～2027年12月期の3ヶ年の配当方針>

決算期	第26期 (2025年12月期)	第27期 (2026年12月期)	第28期 (2027年12月期)
配当方針	DOE2%以上を目安	DOE2%以上を目安	DOE2%以上を目安

2025年12月期の配当につきましては、上記方針に基づき、1株当たり配当金を6円35銭といたします。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに中間連結会計期間における連結業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,035,171	10,314,899
預け金	5,375	—
受取手形、売掛金及び契約資産	7,702,639	6,117,544
棚卸資産	※1 1,802	※1 1,487
その他	661,746	666,637
貸倒引当金	△27,253	△12,389
流動資産合計	18,379,481	17,088,179
固定資産		
有形固定資産	1,154,936	1,213,945
無形固定資産		
のれん	54,814	62,975
その他	11,457	84,705
無形固定資産合計	66,271	147,680
投資その他の資産		
投資有価証券	2,779,210	2,512,673
長期貸付金	32,092	33,146
その他	1,352,943	1,152,474
貸倒引当金	△880,051	△819,503
投資その他の資産合計	3,284,194	2,878,791
固定資産合計	4,505,402	4,240,417
資産合計	22,884,884	21,328,597
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,562,263	5,644,688
未払法人税等	317,555	228,505
その他	1,753,231	1,488,842
流動負債合計	8,633,050	7,362,035
固定負債		
繰延税金負債	171,306	121,278
退職給付に係る負債	21,894	22,644
その他	173,196	173,457
固定負債合計	366,397	317,380
負債合計	8,999,448	7,679,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,717,126	1,717,126
資本剰余金	5,368,092	5,368,092
利益剰余金	7,388,317	7,208,550
自己株式	△2,091,607	△2,091,607
株主資本合計	12,381,927	12,202,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292,023	219,457
為替換算調整勘定	789,414	780,902
退職給付に係る調整累計額	17,862	19,623
その他の包括利益累計額合計	1,099,300	1,019,983
新株予約権	132,472	148,928
非支配株主持分	271,734	278,107
純資産合計	13,885,435	13,649,181
負債純資産合計	22,884,884	21,328,597

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)
売上高	6,393,588	5,906,738
売上原価	1,170,553	1,064,492
売上総利益	5,223,035	4,842,245
販売費及び一般管理費	※1 5,169,361	※1 4,865,318
営業利益又は営業損失 (△)	53,673	△23,073
営業外収益		
受取利息	11,285	10,619
受取配当金	2,612	1,836
持分法による投資利益	108,631	68,397
為替差益	350	—
投資事業組合運用益	39,787	66,498
その他	44,830	15,711
営業外収益合計	207,496	163,064
営業外費用		
為替差損	—	14,676
その他	3,398	2,368
営業外費用合計	3,398	17,045
経常利益	257,772	122,945
特別利益		
固定資産売却益	3,590	260
投資有価証券売却益	397,754	67,422
関係会社株式売却益	27,603	5,141
特別利益合計	428,948	72,824
特別損失		
段階取得に係る差損	641	—
持分変動損失	—	212
固定資産除却損	1,979	—
投資有価証券評価損	86,338	66,257
関係会社株式売却損	19,370	578
在外連結子会社リストラクチャリング費用	41,255	8,071
特別損失合計	149,586	75,120
税金等調整前中間純利益	537,134	120,649
法人税、住民税及び事業税	294,877	203,738
法人税等調整額	48,766	△22,450
法人税等合計	343,644	181,288
中間純利益又は中間純損失 (△)	193,490	△60,638
非支配株主に帰属する中間純利益	15,040	16,356
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失 (△)	178,449	△76,994

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	193,490	△60,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120,061	△76,220
為替換算調整勘定	161,213	△12,816
退職給付に係る調整額	△309	1,761
持分法適用会社に対する持分相当額	11,785	14,418
その他の包括利益合計	52,628	△72,857
中間包括利益	246,118	△133,496
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	208,942	△156,311
非支配株主に係る中間包括利益	37,175	22,815

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	537,134	120,649
減価償却費	113,743	55,188
のれん償却額	3,324	11,396
株式報酬費用	22,844	16,455
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,213	△5,351
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55,753	—
受取利息及び受取配当金	△13,897	△12,455
支払利息	32	—
固定資産売却損益 (△は益)	△3,590	△260
固定資産除却損	1,979	—
在外連結子会社リストラクチャリング費用	41,255	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△319,649	△5,727
投資事業組合運用損益 (△は益)	△39,787	△66,498
持分法による投資損益 (△は益)	△108,631	△68,397
持分変動損益 (△は益)	—	212
売上債権の増減額 (△は増加)	1,172,286	1,527,459
前渡金の増減額 (△は増加)	△55,213	384
未収入金の増減額 (△は増加)	△12,185	△9,744
前払費用の増減額 (△は増加)	99,547	62,425
未収消費税等の増減額 (△は増加)	237,533	△86,608
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,084,957	△962,973
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△76,237	△200,334
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△106,906	△105,481
前受金の増減額 (△は減少)	△52,562	88,862
預り金の増減額 (△は減少)	△19,763	△9,024
その他	△23,224	△58,529
小計	252,109	291,647
利息及び配当金の受取額	12,867	87,638
利息の支払額	△32	—
補助金の受取額	—	349
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△155,747	△221,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,197	158,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,248	△254,144
無形固定資産の取得による支出	△980	△70,070
投資有価証券の取得による支出	△95,060	△54,412
投資有価証券の売却による収入	411,895	70,770
貸付けによる支出	△1,347	△8,600
貸付金の回収による収入	44,559	8,691
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	192,744
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△96,001	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△15,018	—
投資事業組合からの分配による収入	74,328	213,164
差入保証金の差入による支出	△11,951	△6,318
差入保証金の回収による収入	6,528	116,273
その他	7,908	△22,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	256,612	186,058
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,360	—
配当金の支払額	△225,601	△117,622
非支配株主への配当金の支払額	△6,699	△16,612
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△0	—
その他	△1,122	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234,783	△134,234
現金及び現金同等物に係る換算差額	△339,737	63,906
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△208,710	274,353
現金及び現金同等物の期首残高	10,194,072	10,040,546
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 9,985,361	※1 10,314,899

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20―3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65―2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への重要な影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※1 棚卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
商品及び製品	744千円	352千円
原材料及び貯蔵品	1,057	1,135

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
給与及び手当	2,407,858千円	2,407,063千円
退職給付費用	29,419	28,995
貸倒引当金繰入額	△3,878	△986

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
現金及び預金勘定	9,979,986千円	10,314,899千円
預け金勘定(注)	5,375	—
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	9,985,361	10,314,899

(注) 預け金は証券会社に対しての一時的な預け入れであり、随時引き出し可能であることから現金及び現金同等物に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
	アドブラット フォーム事業	エージェン シー事業	計				
売上高							
国内	1,940,709	2,757,139	4,697,848	698,021	5,395,870	—	5,395,870
海外	20,524	977,193	997,718	—	997,718	—	997,718
顧客との契約から生じる収益	1,961,234	3,734,332	5,695,566	698,021	6,393,588	—	6,393,588
外部顧客に対する売上高	1,961,234	3,734,332	5,695,566	698,021	6,393,588	—	6,393,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	281,660	114,416	396,076	201,642	597,718	△597,718	—
計	2,242,894	3,848,749	6,091,643	899,663	6,991,307	△597,718	6,393,588
セグメント利益	236,336	773,720	1,010,057	159,039	1,169,097	△1,115,424	53,673

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,115,424千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、子会社株式の取得により、のれんが63,967千円発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
	アドプラットフォーム事業	エージェンシー事業	計				
売上高							
国内	2,313,302	1,977,137	4,290,440	639,216	4,929,657	—	4,929,657
海外	25,782	951,298	977,080	—	977,080	—	977,080
顧客との契約から生じる収益	2,339,085	2,928,435	5,267,521	639,216	5,906,738	—	5,906,738
外部顧客に対する売上高	2,339,085	2,928,435	5,267,521	639,216	5,906,738	—	5,906,738
セグメント間の内部売上高又は振替高	264,227	60,581	324,808	199,282	524,091	△524,091	—
計	2,603,312	2,989,017	5,592,330	838,499	6,430,829	△524,091	5,906,738
セグメント利益又は損失(△)	587,617	247,176	834,794	96,325	931,120	△954,193	△23,073

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△954,193千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、前中間連結会計期間に行われた子会社株式の取得における条件付対価の支払いにより、のれんを追加的に計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において15,000千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。